



令和7年度 シラバス

第3学年



北海道平取高等学校

令和7年度年間計画

教科	国語	学年	3	使用教材	新編 文学国語
					必携国語総合セミナー
科目	文学国語	単位	4		

1 科目の目標（学習指導要領より）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国に言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	言葉の働きを理解しようと努めながら語彙を増やし、表現技法を体系的に理解し使おうとしている。
B	文学作品について感想を持つことができ、それについて意見交換を行いながら、そこで学んだことを表現することができる。
C	学習した内容を日常生活の中で活かしながら、創作活動や文学作品に積極的に接することができる。

3 学習方法

・学んだことをノートなどに記録する ・単元テストに向けて学びをまとめる ・課された課題を期限内に適切に提出する ・タブレットなどを適切に使用する ・適切な文字を丁寧に書く	
---	--

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	文学的な文章とは？	読 1	a	言葉の意味や読み方を正しく理解できている。	観察 ワークシート 単元テスト
	明日をひらく	読 6	b	内容・構成・展開の把握ができている。	
			c	自分の生き方について考えることができている。	
	【書く】言葉でスケッチ ①	書 7	a	印象に残る言葉の効果を考えることができている。	
	【書く】言葉でスケッチ ②		b	表現したいことを明確にできている。	
			c	共感を得ることができる工夫ができている。	
	古典の世界	読 3	a	基本的な古文の意味が理解できている。	
			b	内容・構成・展開の把握ができている。	
			c	話のおもしろさについての説明ができている。	
	詩の構成と表現	読 2	a	詩の種類や特徴についての知識を得ることができている。	
	詩を味わう	読 5	b	工夫して詩の音読をすることができている。	
			c	詩を読むことに興味を持つことができている。	
	文化を感じる	読 6	a	短歌・俳句の種類や特徴についての知識を得ることができている。	
	短歌・俳句の構成と表現	読 1	b	情景をイメージした文章を作ることができている。	
	短歌・俳句・恋のうた	読 6	c	短歌・俳句に興味を持つことができている。	
	【書く】十七音のパズル ①	書 8	a	川柳の形式や特徴を理解することができている。	
	【書く】十七音のパズル ②		b	川柳の創作をすることができている。	
			c	川柳に強い関心をもつことができ	

				ている。	
	心をみつめる	読 4	a	言葉の意味や読み方を正しく理解できている。	
			b	自分の解釈や見解を基に議論ができている。	
			c	筆者のメッセージを読み取ることができている。	
	古典の世界	読 3	a	各作品の概要・構成を理解することができている。	
			b	内容を理解し、事例を理解することができている。	
			c	共感できることとできないことの言語化ができている。	
	表現を味わう	読 9	a	文学的な文章の種類や特徴を理解することができている。	
			b	本文の内容を理解することができている。	
			c	表現上の工夫を捉え文章を味わうことができている。	
	【書く】思いを言葉に① 【書く】思いを言葉に②	書 9	c	魅力的なエッセイ・手紙の特徴を考えることができる。	
			a	積極的にエッセイ・手紙の内容を考えることができている。	
			c	エッセイの執筆に取り組むことができている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	場面設定を押さえる	読 1	a	修辞法の効果について理解ができている。	観察 ワークシート 単元テスト
	小説を楽しむ	読 9	b	登場人物の人間関係を押さえることができている。	
			c	人の意見を聞き、自分なりの解釈ができている。	
	場面の展開を追う	書 1	a	場面の展開を読み取るために注意すべきことを理解できている。	
			b	作品の場面がどのように展開しているかを理解できている。	
			c	他者の意見を参考にして新しい発	

			見ができています。	
名作を読む	読 8	a	漢文訓読調の文章が持つ独特のリズム・響きの理解ができています。	
		b	李徴が虎になった理由の説明ができています。	
		c	小説の内容から、自分自身を省みることができています。	
古典の世界	読 10	a	古文・漢文の訓読についての知識が得られている。	
		b	登場人物の心情を読み取ることができています。	
		c	掲載されていない古文・漢文にも興味を持つことができる。	
社会に生きる	読 4	a	方言への興味を持つことができています。	
		b	人々の自然に対する見方を理解しようとしていることができています。	
		c	自分の生活と比較を具体的にできている。	
小説を味わう	読 4	a	作品が書かれた時代や当時の風俗・思想の背景について理解ができています。	
		b	せりふが暗示する気持ちの読み取りができています。	
		c	主題の考察に取組み、自身の考えを深めようとしている。	
心情・情景描写を読み取る	読 1	a	人物の心情を表す言葉に注目することができています。	
		b	情景描写が示す心情について説明することができています。	
		c	それぞれの意見を参考にして、自分の意見の見直しができています。	
小説を楽しむ	読 4	a	常用漢字の読み書きができています。	
		b	時間関係の読み取りができています。	
		c	登場人物の言動と自分の意見をまとめることができています。	
文学を生み出す	読 2	a	構成や表現上の工夫を見つけることができています。	

			b	登場人物の思いを正しく理解することができる。	
			c	小説を読む意欲を高めることができる。	
【書く】物語を紡ぐ	書 8	a	発想を広げ起承転結を意識した内容を考えることができる。		
		b	自分の文章の特長や課題を把握することができる。		
		c	作品の創作に興味を持つことができる。		
名作を読む	読 1 1	a	語感を磨きながら語彙を豊かにすることができる。		
		b	あらすじをつかみ積極的に話し合いに参加することができる。		
		c	他の近代文学作家の作品に興味を持つことができる。		
【書く】物語を紡ぐ	書 4	a	修辞法を理解し表現に使用することができる。		
		b	助言を参考にして自分の文章の課題を捉えることができる。		
		c	作品創作に興味を持つことができる。		
【書く】思い出を形に	書 3	a	修辞法を理解し表現に使用することができる。		
		b	助言を参考にして自分の文章の課題を捉えることができる。		
		c	自身の思い出の編纂に関心を持つことができる。		

令和7年度年間計画

教科	国語	学年	3	使用 教材	精選 古典探究 古文編
					精選 古典探究 漢文編
科目	古典探究	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
B	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
C	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 学習方法

(1)	授業の理解に全力を注ぐ。授業に集中して取り組むことが最良の学習方法です。
(2)	考えを伝え合う。言葉で表現することをたくさん行いましょう。音読も伝える練習の一環です。
(3)	プリントを創る。単に板書を写すだけのものではなく、授業内容と家庭学習が一貫して使える工夫が必要です。自分独自のプリントを「創って」いくことによって理解が深ま

ります。

(4) 家庭学習をする。国語は家庭学習を疎かにしがちです。単語、文法など毎日取り組む努力をお願いします。

(5) 単元テスト、模試を活用する。自分の学んだことがどのくらい定着しているのかを測る機会です。テスト前の取り組み、テスト後の振り返りを疎かにしないでください。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
前 期	説話 宇治拾遺物語 「小野篁、広才のこと」 和歌 百人一首	13	話の展開と登場人物の心情を読み取る。 和歌について、主体的に学ぶことで古典文化への関心を育む。 【知識・技能】 ・助動詞 ・和歌の修辞法 【読む：構造把握】 ・構成や展開 ☐ 対面授業① ☐ 単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 作成物 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	故事成語 孫子 「呉越同舟」 漢詩 杜甫 「登高」	10	故事の内容を読み取り、言葉のもつ奥行きについて考える。 昨年学んだ内容を新たな漢文の中で実践することで理解を深める。 【知識・技能】 ・漢文訓読 ・再読文字 ・漢詩基礎 【読む：構造把握】 ・構成や展開 ☐ 単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	物語 竹取物語 「かぐや姫の昇天」 源氏物語 「光源氏の誕生」	19	登場人物の行動と心情を読み取る。 物語中の和歌の役割について理解する。 文章の構成や展開について理解を深め、当時の人々がどのように考えていたか、自分の考えを深める。 【知識・技能】 ・助動詞 ・敬語 【読む：内容把握】 ・内容解釈と自分の知見を結び付ける。	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況

			☐ 単元テスト ☐ 対面授業②	
--	--	--	--	--

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
後 期	文章 李白 「春夜宴桃李園序」	7	書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する。先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分の見方、感じ方、考え方を豊かにする。 【知識・技能】 ・ 漢文訓読 ・ 漢文句形 【読む：内容把握】 ・ 文章に表現された主張を読み取る ☐ 単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	日記 更級日記 「源氏の五十余巻」	7	日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。 日記の特徴を理解しつつ、作者の考えと自分の考えを結びつけて学びを深める。 【知識・技能】 ・ 助動詞 ・ 助詞 【読む：内容解釈】 ・ 学んだ内容と自己の考えとの関連 ☐ 単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	二年間の総復習	4	これまで学んできた文法事項を確認する。 作品を読む上でのポイントと自己理解を深める。 【知識・技能】 ・ 助動詞、助詞、敬語 ・ 漢文基礎・漢詩基礎 【読む】 ・ 内容解釈、構造把握	a プリントへの記述状況 b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況

令和7年度年間計画

教科	地理歴史	学年	3	使用教材	高校日本史
					新詳日本史
科目	日本史探究	単位	3		

1 科目の目標（学習指導要領より）

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3)	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を寸町することの大切さについての自覚などを深める。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめている。
B	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
C	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとしている。

3 学習方法

- ・歴史に関する基本的な知識を身につけるとともに、日本の歴史の特徴と現代のつながりに目を向ける意識を持つ。
- ・歴史事項が資料を基に成り立っていることを理解し、諸資料の活用技能を習得する。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあ けぼの	6	a	旧石器文化・縄文文化の成立と変化や水稲耕作・金属器の伝来を、自然環境の変化や大陸からの影響に着目して理解するとともに、発掘調査製菓から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	考古学上の知見や文献資料から文化や社会を多角的・多面的に考察した結果を、根拠を占め着て表現している。	
			c	日本の文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	
	第2章 古墳とヤマト 政権	4	a	渡来人のもたらしたものが現在の日本文化の基層にあることと、推古朝の政治や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解する。	
			b	ヤマト政権の発展や古墳文化の特色や仏教の需要などの大陸との交流について、諸資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。	
			c	中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、古墳文化の展開や推古朝の政治などとのつながりを見出そうとしている。	
	第3章 律令国家の形	6	a	中国王朝との関係と政治・文化へ	

	成			の影響や平安初期の政治とその後の律令体制の変容について、東アジア世界との関係の変化を踏まえて理解している。	
			b	律令体制について、政治や地方の動向なども踏まえて、律令体制の変容について考察し、表現している。	
			c	中国王朝から受容した文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりや文化とのつながりを見出そうとしている。	
	第4章 貴族政治の展開	4	a	院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料方さまざまな情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り
			b	武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有が持つ意味について多面的・多角敵に考察し、表現している。	
			c	中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	
	第6章 武家政権の成立	6	a	源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について理解している。	
			b	鎌倉時代の農業・商工業の発達による社会の変動や御家人の窮乏について多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	武家政権成立期の宗教や文化にみられる特色を、平和な時代と比較しながら主体的に追究しようとし	

				ている。	単元テスト
	第7章 武家社会の成長	8	a	室町時代における多様な文化の形成や、守護大名と戦国大名の相違点などを諸資料から読み取り、特徴を理解している。	
			b	室町文化と、当時の政治や経済の動向、各地の村落や都市の発達、東アジアとの交流との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。	
			c	武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代のつながりから、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。	
	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け	3	a	アジア各地やヨーロッパ諸国との交流から、織豊政権の特色や貿易対外関係、安土桃山時代の文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中に溶け込んでいったことを理解している。	
			b	織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第9章 幕藩体制の成立と展開	11	a	幕藩体制下の支配体制や法権的身分秩序の形成から文治政治への転換から元禄時代・正徳の治に至る推移について理解している。	
			b	陸上・水上における交通や流通の	

				発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。	
			c	幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策が人々の暮らしへもたらした影響について、主体的に追究しようとしている。	
	第10章 幕藩体制の動揺	7	a	列強の接近に伴う事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。	
			b	商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。	
			c	飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や雄藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	
	第IV部 近代・現代 第11章 近世から近代へ	4	a	政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。	
			b	欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に表現しようとしている。	
	第12章 近代国家の成立	5	a	明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化	

ペアワーク
グループ討議
レポート
学習の振り返り
単元テスト

				の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。	
			b	国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	
	第 13 章 近代国家の展開と国際関係	7	a	日清・日露戦争や満州への勢力拡大、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過などに着目し、日本の国際的地位の変化を理解している。	
			b	日清・日露戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらし、大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	
	第 14 章 近代の産業と生活	4	a	日清・日露戦争や満州への勢力拡大、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過などに着目し、日本の国際的地位の変化を理解している。	
			b	日清・日露戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらし、大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。	

			c	対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	
第 14 章 近代の産業と生活	4	a	政治・経済体制の変化に着目して、満州事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り	
		b	当時の社会が抱えた矛盾と満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。		
		c	日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。		
第 16 章 現代の世界と日本 総探②③	10	a	保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯や、戦後の日本経済の成長や、高度経済成長期の国民生活や地域社会の変化について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。		
		b	日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因や、国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。		
		c	連合国による日本占領貴校の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、現代日本との関係性を踏まえながら、主体的に追究しようとしている。		

令和7年度年間計画

教科	公民	学年	3	使用教材	高等学校 政治・経済
					ズームアップ政治・経済資料集
科目	政治・経済	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
(3)	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
B	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。
C	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 学習方法

- ・政治、経済に関する基本的な知識を身につけるとともに、世界の動向に目を向ける意識を持つ。
- ・現代社会の事象を、諸資料を用いて考察し、より良い社会の実現に主体的に関わろうとする姿勢を習得する。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方	12	a	政治や政治権力の意味とその役割や法の支配や立憲主義の意味と意義、基本的人権や新しい人権、民主政治のしくみや、日本国憲法と日本の三権のあり方について理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	法の意義や機能、憲法に保障されている自由や平等、よりよい民主主義のあり方、国会・行政・国民の司法参加のあり方などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	日本国憲法と現代政治のあり方について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 総探①②③	4	a	地方自治の本旨と日本の地方自治制度、政党の意義と役割について、理解している。	
			b	地方自治における住民の権利と住民運動の意義、日本の政党政治や選挙制度の課題、望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
			c	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方について、よりよい社会の実現を視野	

				に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第3節 市場経済の機能と限界	9	a	資本主義経済の特質や市場経済の原理、経済の三主体の活動や株式会社のしくみや景気変動、公害と消費者問題に対する施策について理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	価格の決まるしくみや企業の社会的責任のあり方、自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	市場経済の機能と限界について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	4	a	財政の機能、租税の種類やその特徴について理解している。	
			b	財政における国と地方の役割分担や持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
			c	持続可能な財政および租税のあり方について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第5節 金融を通じた経済活動の活性化	4	a	金融のはたらきと金融機関の役割や日本銀行の金融政策とその影響について、理解している。	
			b	現在の金融をめぐる動向とその課題、金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
			c	金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第6節 経済活動と福祉の向上	7	a	日本経済における産業構造の変化や日本経済の課題、労働三法の内容、日本の社会保障制度の課題について、理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	日本の中小企業や農業経営者が直面している課題や現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題、日本の社会保障制度の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	経済活動と福祉の向上について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第2章 現代日本の諸課題の研究 3 多様な働き方・生き方を可能にする社会	6	a	諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。	
			b	社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考え方を説明、論述している。	
			c	取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	
	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政		a	国際社会の動向や国際連合の機能と主要機関の役割、紛争当事者の変化や平和的解決のための取り組み	

治・経済	第1節 国際法の果たす役割	7		みについて、理解している。	
			b	国際社会の多極化や国際協力についてや、領土問題など国際紛争の解決のあり方、国際平和のためにどのような努力がなされているか、多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	国際法の果たす役割について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	3	a	平和主義の理念と日本の防衛政策の関連や日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について、理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り
			b	国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
			c	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	6	a	国際分業の利点や変動相場制における為替相場の決定のしくみ、日本経済の動向について、理解している。	
			b	現在の世界と日本の貿易の現状と動向や地域的経済統合の意義と課題について、考察し、表現している。	
			c	相互依存関係が深まる国際経済の特質について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
	第4節 国際経済において求められる日本の役割	2	a	国際経済における日本の地位について、理解している。	
			b	国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考	

				察、構想し、表現している。	
			c	国際経済において求められる日本の役割について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
			a	諸課題の探究にあたって、国際社会の動向に着目したり、諸外国における取り組みや、国際連合における持続可能な開発のための取り組みなどを参考にしたりしている。	
			b	社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。	
			c	取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	

令和7年度年間計画

教科	数学	学年	3	使用教材	新編 数学Ⅱ
					新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅱ
科目	数学Ⅱ	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3)	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	- 指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
B	- 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 - 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。
C	- 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習方法

対面授業、グループワーク、ワークシート（振り返りシート等）の利用、情報機器の利用、小単元テストの実施など

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第5章 指数関数と対数関数		a	- 整数・有理数へ拡張した指数法則を用いて計算することができる。 - 累乗根の意味を理解し、計算することができる。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など
	第1節 指数関数	4			
	1 指数の拡張				
	2 指数関数	4	b	- 指数関数の大小を比較することができる。 - 指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。	
			c	- 身近な問題を解決することに、指数を考察することができる。 - 指数が分数のときでも、指数法則が成り立つことを考察することができる。 - 指数関数の値の変化やグラフについて、考察することができる。 - 指数が分数のときでも、指数法則が成り立つことを考察しようとしている。 - 指数関数の値の変化やグラフについて、考察しようとしている。	

	第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	5 5 3	a b c	- 対数の意味を理解し、対数の値を求めることができる。 - 対数の性質を用いて、対数の計算をすることができる。 - 底の変換公式を用いて、対数の値を求めることができる。 - 対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 - 常用対数の意味を理解し、常用対数表を用いて、対数の値を求めることができる。 - 常用対数を利用して、整数の累乗の桁数を求めることができる。 - 指数関数と対数関数の値の変化やグラフの比較について、考察することができる。 - 指数関数と対数関数の値の変化やグラフの比較について、考察しようとしている。	
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用	2 2 2 6 4	a b a	- 導関数の公式を用いて関数を微分することができる。 - 導関数を利用して微分係数を求めることができる。 - 曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。 - 導関数の定義を基に導関数について考察することができる。 - 曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。 - 導関数の符号を利用して関数の増減を調べることができる。 - 関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めることができる。 - 増減表を作り、関数のグラフをかくことができる	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など

			b	導関数 $f'(x)$ の符号と関数 $y = f(x)$ のグラフの増減の対応について考察することができる。	
			c	導関数 $f'(x)$ の符号と関数 $y = f(x)$ のグラフの増減の対応について考察しようとしている。	

年間学習計画(a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第6章 微分法と積分法 第3節 積分法 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と面積	3 3 4	a	- 不定積分の意味を理解し、不定積分を求めることができる。 - 不定積分の公式を用いて、不定積分や原始関数 $F(x)$ を求めることができる。 - 定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。 - 定積分を利用して直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など
			b	直線で囲まれた図形の面積を求める方法について、定積分の計算と関連付けて考察することができる。	

	第4章 三角関数				
	第1節 三角関数				
	1 角の拡張	4	a	- 一般角の動径の位置を求めることができる。 - 角の大きさについて度数法を弧度法で表したり、弧度法を度数法で表したりすることができる。 - 弧度法による扇形の弧の長さと面積を求めることができる。 - 三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 - 一般角の三角関数の相互関係を利用して、正弦、余弦、正接を求めることができる。 - 三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。 - 三角関数のグラフの性質を理解し、そのグラフをかくことができる。 - 単位円やグラフを利用して三角関数を含む方程式を解くことができる。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など
	2 三角関数	4			
	3 三角関数の グラフ	3			
	4 三角関数の性質	1			
	5 三角関数を含む 方程式・不等式	3			
			b	- 扇形の弧の長さと半径の関係から中心角の大きさについて考察することができる。 - 一般角の三角関数の相互関係が成り立つことについて単位円を用いて考察することができる。	
			c	扇形の弧の長さと半径の関係から中心角の大きさについて考察しようとしている。	
	第2節 加法定理		a	- 三角関数の加法定理を用いて三角関数の値を求めることができる。 2倍角の公式を用いて三角関数の値を求めることができる。 - 三角関数を合成することができる。	
	6 加法定理	4			
	7 加法定理の応用	4	b	サインの加法定理の考えについて単位円を用いて考察することができる。	

			c	・サインの加法定理の考えについて単位円を用いて考察しようとしている。	
--	--	--	---	------------------------------------	--

令和7年度年間計画

教科	数学	学年	3	使用教材	新編 数学C
					改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学C
科目	数学C	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3)	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	- ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 - 数学的な表現の工夫について認識を深めている。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
B	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
C	- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習方法

対面授業、グループワーク、ワークシート（振り返りシート等）の利用、情報機器の利用、宿題・小単元テストの実施など

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第 1 章 平面上の ベクトル		a	・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解している。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など
	第 1 節 ベクトルと その演算				
	1 ベクトル	1		・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。	
	2 ベクトルの演算	2.5			
	3 ベクトルの成分	2	b	・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。	
	4 ベクトルの内積	2.5			
	研究 三角形の内積	1		・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。	
	小単元テスト	1			
	5 位置ベクトル	2			
	6 ベクトルの 図形への応用	2.5	c	・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	
	7 図形のベクトル による表示	2.5		・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
	総探②③④				
	研究 円のベクトル 方程式	1			
	研究 直線のベクトル 方程式の応用	1			
	小単元テスト	1			

	第2章 空間のベクトル		a	・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小单元テスト など
	1. 空間の点	1	b	・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。	
	2. 空間のベクトル	1			
	3. ベクトルの成分	1.5			
	4. ベクトルの内積	1.5			
	5. ベクトルの	2			
	図形への応用		c	・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとした り、粘り強く考え数学的論拠に 基づき判断しようとしたりして いる。 ・問題解決の過程を振り返って考 察を深めたり、評価・改善した りしようとしている。	
	発展 点Pが	1			
	平面 ABC 上				
	にある条件				
6. 座標空間に	2				
おける図形					
小单元テスト	1				

年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第3章 複素数平面		a	・極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解している。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小单元テスト など
	1. 複素数平面	3		・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。	
	2. 複素数の極形式	3			
	3. ド・モアブルの定理	2			
	4. 複素数と図形	4			
	研究 複素数平面上の3点の位置関係	1			
単元テスト	1	b	・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。		
			c	・事象を平面上の曲線と複素数平	

				面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
第4章 式と曲線			a	- 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解している。 - 曲線が極方程式で表されることについて理解している。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小单元テスト など
第1節 2次曲線					
1. 放物線	1				
2. 楕円	3				
3. 双曲線	3				
4. 2次曲線の 平行移動	2		b	放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。	
5. 2次曲線と直線	2				
研究 2次曲線の 接線の方程式	1			日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	
研究 2次曲線の 性質	1				
小单元テスト	1				
6. 曲線の媒介変数 表示	4				
7. 極座標と 極方程式	4				
研究 2次曲線を 表す極方程式	1		c	事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	
8. コンピュータの 利用	1			問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
小单元テスト	1				

令和7年度年間計画

教科	理科	学年	3	使用教材	生物
科目	生物	単位	2		ニューアチーブ生物

1 科目の目標（学習指導要領より）

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	
(1)	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2)	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
B	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
C	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 学習方法

- 授業中は説明や指示を集中して聞き、教科書を読んでも分からない場合や疑問に感じたことは積極的に質問する。 - ノートは後で自分が復習するために、自分にとって分かりやすいノートを作成する。（板書のコピーではなくオリジナルなノートをつくる） - 副教材は知識の定着や確認のために活用する。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	1 編 生物の進化 2 章 遺伝子の変化と 進化の仕組み 3 章 生物の系統と進 化	1 2 6	a	遺伝子の変化と進化の仕組み、生物の系統と進化について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	遺伝子の変化と進化の仕組み、生物の系統と進化について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	遺伝子の変化と進化の仕組み、生物の系統と進化について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 編 生命現象と物質 1 章 細胞と物質	1 2	a	生体物質と細胞について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	生体物質と細胞について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	生体物質と細胞に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	2 章 代謝とエネルギー	1 0	a	代謝とエネルギーについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	代謝とエネルギーについて観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	代謝とエネルギーの合成に主体的に関	単元テスト

				わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
	3 編 遺伝情報の発現と発生 1 章 遺伝情報とその発現	1 5	a	DNA の構造と複製について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	DNA の構造と複製について観察，実験などを通して探究し，その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	DNA の構造と複製に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 章 発生と遺伝子発現 3 章 遺伝子を扱う技術 総探②③④	1 0 5	a	遺伝子の発現調節およびバイオテクノロジーについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	遺伝子の発現調節およびバイオテクノロジーについて観察，実験などを通して探究し，その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	遺伝子の発現調節およびバイオテクノロジーに主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	単元テスト

令和7年度年間計画

教科	理科	学年	3	使用教材	高等学校 地学基礎
科目	地学基礎	単位	2		新課程 高等学校 地学基礎 準拠 サポートノート

1 科目の目標（学習指導要領より）

地球や地球を取り巻く環境に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2)	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
(3)	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
B	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
C	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3 学習方法

- 授業中は説明や指示を集中して聞き、教科書を読んでも分からない場合や疑問に感じたことは積極的に質問する。 - ノートは後で自分が復習するために、自分にとって分かりやすいノートを作成する。（板書のコピーではない） - 副教材は知識の定着や確認のために活用する。
--

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造 第2章 プレートの運動 第3章 地震 第4章 火山	7 6 8 5	a	活動する地球について、プレートの運動、火山活動と地震の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	活動する地球について、観察、実験などを通して探究し、活動する地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	レポート
			c	活動する地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている	単元テスト
	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海水の運動	1 1	a	大気と海洋について、地球の熱収支、大気と海水の運動の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	大気と海洋について、観察、実験などを通して探究し、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現している。。	レポート
			c	大気と海洋に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と日本の自然環境	1 2	a	地球の環境について、地球環境の科学、日本の自然環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	地球の環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。 c 地球の環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。	レポート
			c	地球の環境に主体的に関わり、見通し	単元テスト

				をもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽 第2章 宇宙の誕生	6 3	a	球の変遷について、宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	地球の変遷について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷について、規則性や関係性を見いだして表現している。	レポート
			c	地球の変遷に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成 第2章 古生物の変遷と地球環境	5 10	a	惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	惑星としての地球について、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球について、規則性や関係性を見いだして表現している。	レポート
			c	惑星としての地球に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト

令和7年度年間計画

教科	保健体育	学年	3	使用 教材	現代高等保健体育
					現代高等保健体育ノート
科目	体育	単位	3		

1 科目の目標（学習指導要領より）

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
(2)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
B	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
C	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

3 学習方法

①学校指定ジャージを着用する。
②授業で使用するワークシートに記録し提出する。
③授業で設定する課題解決に向けて努力する。
④課題提出を求められたときは、期限までに提出する。
⑤わからないことは積極的に質問し解決できるよう心がける。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	陸上競技・体づくり運動 （長中距離） 総探① 総探② 総探③	1 2	a	①陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②陸上競技の運動種目によって必要な体力要素があり、その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしててる。 ④競技会や記録会で、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他
			a	①自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走るこ	観察 その他

			ができる。	
		b	①選択した運動種目について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や競技会の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤練習や競技会の場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて提案している。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	観察 ワークシート 記述 その他
		c	①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
陸上競技・体づくり運動 (短距離・リレー) 総探①	18	a	①陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる	観察 ワークシート 記述

	総探② 総探③			る重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②陸上競技の運動種目によって必要な体力要素があり、その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりして る。 ④競技会や記録会で、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	その他
			a	①高いスピードを維持して走る中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走ることができる。 ②最も速く走ることのできるペース配分に応じて動きを切り替えて走ることができる。 ③リレーでは、大きな利得距離を得るために、両走者がスピードにのり、十分に腕を伸ばした状態でバトンを渡すことができる。	観察 その他
			b	①選択した運動種目について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。	観察 ワークシート 記述 その他

				③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や競技会の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤練習や競技会の場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて提案している。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	
			c	①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
	体づくり運動 総探① 総探② 総探③	8	a	①体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを言ったり書き出したりしている。 ②体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他

				③実生活への取り入れ方には、自己のねらいに応じた様々な運動の計画などがあることを言ったり書き出したりしている。 ④課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための運動例の選択とそれに基づく計画の作成及び実践、学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。	
			a	①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ③緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ④いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ⑤仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ⑥体調の維持などの健康の保持増進をねらいとして、各種の有酸素運動や体操などの施設や器具を用いず手軽に行う運動例や適切な食事や睡眠の管理の仕方を取り入れて、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組むことが	観察 その他 ワークシート 記述

				できる。 ⑦生活習慣病の予防をねらいとして、「健康づくりのための身体活動基準 2013」（厚生労働省運動基準の改定に関する検討会平成 25 年 3 月）などを参考に、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組むことができる。 ⑧調和のとれた体力を高めることをねらいとして、体力測定の結果などを参考に、定期的に運動の計画を見直して取り組むことができる。 ⑨競技力の向上及び競技で起こりやすいけがや疾病の予防をねらいとして、体力の構成要素を重点的に高めたり、特に大きな負荷のかかりやすい部位のけがを予防したりする運動の組合せ例を取り入れて、定期的に運動の計画を見直して取り組むことができる。	
			b	①生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 ②運動に取り組む場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ③一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。 ④課題解決に向けて話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保し	観察 ワークシート 記述 その他

				ている。	
	体育理論（３）豊かなスポーツライフの設計の仕方 総探②	3	a	①スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを言ったり書き出したりしている。 ②生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることを言ったり書き出したりしている。 ③スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを言ったり書き出したりしている。 ④人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められることを言ったり書き出したりしている。	ワークシート 記述 観察 その他
			b	①ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。 ②豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	観察 ワークシート 記述
			c	①豊かなスポーツライフの設計の	観察

				仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 記述
	球技・選択制 (ゴール型・ネット型) 総探① 総探②	16	a	①球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ②課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。 ③競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他
			a	①防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。 ②味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ③空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ④守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 ⑤隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすことができる。 ⑥自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。 ⑦シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 ⑧侵入する空間を作り出すため	

				に、チームの作戦に応じた移動や動きをすることができる。 ⑨得点を取るためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動きをすることができる。 ⑩チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。 ⑪味方が抜かれた際に、攻撃者を止めるためのカバーの動きをすることができる。 ⑫一定のエリアから得点しにくい空間に相手や相手のボールを追いつ出す守備の動きをすることができる。	
			a	①サービスでは、ボールに変化をつけて打つことができる。 ②ボールを相手側のコート守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ③ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 ④変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。 ⑤移動を伴うつなぎのボールに対応して、攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にトスを上げることができる。 ⑥仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 ⑦ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 ⑧チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返	

				したりすることができる。	
			b	①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ③チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ⑥チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ⑦チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ⑧体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑨球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	
			c	①球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②フェアなプレイを大切にしようとしている。 ③作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ④一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ⑤仲間の課題を指摘するなど、互	観察 ワークシート 記述 その他

			いに助け合い高め合おうとしている。 ⑥危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	
--	--	--	---	--

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	器械運動（跳び箱運動） 総探① 総探② 総探④	25	a	①器械運動では、技の系、技群、グループの系統性の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②器械運動の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③課題解決の方法では、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、演技や発表を通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。 ④自己の能力に応じた技で組み合わせたり、異なる技群で構成したりするなどの発表に向けた演技構成の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ⑤発表会や競技会で、演技構成の仕方、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりして	観察 ワークシート 記述 その他

				いる。	
			a	マット運動 接転技群(背中をマットに接して回転する) ①新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ること。 ②開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや支持の仕方などの条件を変えて、一連の動きを滑らかにして回ること。 ③学習した基本的な技を発展させて、一連の動きを滑らかにして回ること。 ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転すること。 ②開始姿勢や終末姿勢、支持の仕方や組合せの動きなどの条件を変えて、一連の動きを滑らかにして回転すること。 ③学習した基本的な技を発展させて、一連の動きを滑らかにして回転すること。 平均立ち技群（バランスをとりながら静止する） ①新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて静止すること。 ②姿勢、体の向きなどの条件を変えて、一連の動きを滑らかにして静止すること。 ③学習した基本的な技の条件を発展させて、一連の動きを滑らかにして静止すること。	観察 その他

			跳び箱運動 ①新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ②着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ③学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ④新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ⑤着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ⑥学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す）	
		b	①選択した技の行い方や技の組合せ方について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や演技の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の	観察 ワークシート 記述 その他

			仕方を提案している。 ⑤グループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに器械運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦器械運動の学習成果を踏まえ、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	
		c	①器械運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②自己の状況にかかわらず、よい演技を讃えようとしている。 ③自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
体育理論（３）豊かなスポーツライフの設計の仕方 総探②	4	a	①スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを言ったり書き出したりしている。 ②生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることを言ったり書き出したりしている。	ワークシート 記述 観察 その他

			③スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを言ったり書き出したりしている。 ④人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められることを言ったり書き出したりしている。	
		b	①ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。 ②豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	観察 ワークシート 記述
		c	①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述
ダンス（創作ダンス） 総探① 総探② 総探④	16	a	①ダンスでは、各ダンスで用いられる名称や用語があり、それぞれのダンスには、表現や踊りにつながる重要な動きや空間の使い方などのポイント及び安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②それぞれのダンスには、特有の文化的背景とそれに応じた表現の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ③交流や発表の仕方には、それぞれのダンスに応じた交流や発表の形態、ステージの使い方、音響や	観察 ワークシート 記述 その他

				衣装などのテーマに応じた選び方があることを言ったり書き出したりしている。 ④課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、交流や発表などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。 ⑤ダンスの特性によって必要な体力要素があり、そのダンスの技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。	
			a	A 身近な生活や日常動作（「ただ今、猛勉強中」、シャッターチャンス、クラス 討論 など） ・ 「ただ今、猛勉強中」などと題して、本を読む、書く、考えるなどの動きを猛スピードで繰り返したり、スローモーションで動いたりするなどの変化を付けて表現することができる。 B 対極の動きの連続（伸びるー落ちる一回る・転がる など） ・ 「伸びるー落ちる一回る・転がる」では、体をゆっくりとした動作で極限まで伸ばし、瞬間的に脱力して床に崩れ落ち、ゆっくりと回る・転がるなどのひと流れの動きをしたり、歩く・走るなどのつなぎの動きを入れて繰り返したりして表現することができる。 C 多様な感じ（激しい・静かな、急変する・持続する、鋭い・柔らかい、素早い・ゆっくりしたなどの多様な感じの中から対照的な感じを表現する） ・ 「声にな	観察 その他

			らない叫び」などと題して、多様な感じの中から「静かな」と「激しい」といった対照的な感じを捉え、こみ上げる感情を抑えている様子を、こぶしを握る、胸を抱えるなどの静かな動きと、素早く回って床をたたく、鋭く伸びる、足を踏み鳴らす、ジャンプして転がるなどの激しい動きで、緩急強弱を付けて表現することができる。 D 群（集団）の動き（カノン、ユニゾン、密集一分散、列や円など） ・ 2～3群に分かれてタイミングをずらした動き（カノン）、全体で統一した動き（ユニゾン）、密集一分散、縦・横・斜めの列や円に並ぶなど、群の動きや隊形を工夫して空間が変化するように表現することができる。 E もの（小道具）を使った動き（大きな布、机、ティッシュペーパー、新聞紙のボールなど質感や大きさの異なる「もの」を取り上げる） ・ 大きな布では、布の中に隠れる・出る、布をまるめる・広げる・揺らすなど、「もの」を使って、形状に変化を付けた動きで表現することができる。 F はこびとストーリー（気に入った小説、詩、絵画 などのテーマから作品をまとめる） ・ 気に入ったテーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一番表現したい中心の場面にふさわしい「緩急強弱のあるひと流れの動き」で表現して、繰り返しや時間・力・空間の変化と強調によって、ダイナミックな盛り上がりをつけて作品にまとめて踊ることができる。	
		b	①選択したダンスについて、自己	観察

				や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や交流及び発表の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを越えて、仲間とともにダンスを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	ワークシート 記述 その他
			c	①ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。 ②仲間の表現や踊りを認め合うなど、互いに共感し高め合おうとしている。 ③作品づくりなどの話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ④一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
	体育理論（３）豊かなスポーツライフの設計の仕方 総探②	3	a	①スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求など	ワークシート 記述 観察 その他

				によっても変化することを言ったり書き出したりしている。 ②生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることを言ったり書き出したりしている。 ③スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを言ったり書き出したりしている。 ④人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められることを言ったり書き出したりしている。	
			b	①ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。 ②豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	観察 ワークシート 記述
			c	①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述

令和7年度年間計画

教科	外国語	学年	3	使用教材	Power On English Communication Ⅲ
					改訂第2版 キクタン【Basic】4000語レベル
科目	英語コミュニケーションⅢ	単位	4		

1 科目の目標（学習指導要領より）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	
(1)	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
(2)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。
B	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
C	外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

3 学習方法

基礎的な単語力と文法力を定着させ、伸ばすためには、繰り返し取り組むことが重要です。そのためにも積極的に家庭での学習に取り組むことが重要になります。また、あらゆる学習活動を通じて、英語でのコミュニケーションに積極的に取り組もうとする姿勢が重要です。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	Lesson 1 Library of the Future	7	a	最近の図書館について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 課題提出
			b	最近の図書館について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	最近の図書館について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 2 History Maker Otani Shohei 単元テスト	9	a	大谷選手について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 課題提出
			b	大谷選手について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	大谷選手について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 5	14	a	イグ・ノーベル賞を受賞した研究の	単語テスト

	A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think ポスターセッション		b 内容について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。 イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 c イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	課題提出 発表
	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	7	a 動物の治療について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。 b 動物の治療について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 c 動物の治療について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	単語テスト 単元テスト 課題提出
	Lesson 4 Nature Photographer in Alaska 単元テスト	11	a 松本紀生さんのメッセージについて、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。 b 松本紀生さんのメッセージについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 c 松本紀生さんのメッセージについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	単語テスト 単元テスト 課題提出

	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	11	a	ハロウィーンの起源や歴史について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 課題提出
			b	ハロウィーンの起源や歴史について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	ハロウィーンの起源や歴史について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World? 単元テスト	13	a	3D プリンター技術によって可能になったことや、気をつけるべき事について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 課題提出
			b	3D プリンター技術によって可能になったことや、気をつけるべき事について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	3D プリンター技術によって可能になったことや、気をつけるべき事について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	

	Lesson 9 English, Always Growing ポスターセッション	16	a	英語の語彙の歴史と語形成の仕組みについて、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 課題提出 発表
			b	英語の語彙の歴史と語形成の仕組みについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	英語の語彙の歴史と語形成の仕組みについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	11	a	「地下鉄道」とは何かについて、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 課題提出
			b	「地下鉄道」とは何かについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	「地下鉄道」とは何かについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 10 Understanding the culture of Dogs 単元テスト	13	a	イヌの習性とその文化について読み取ることができる。	単語テスト 単元テスト 課題提出
			b	犬の習性とその文化について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	犬の習性とその文化について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	

令和7年度年間計画

教科	外国語	学年	3	使用教材	MY WAY Logic and Expression II
					MY WAY Logic and Expression II WORKBOOK
科目	論理・表現Ⅱ	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	
(1)	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
(2)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	- 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 - 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。
B	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
C	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3 学習方法

- (1)オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2)ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4 サイズ)を必ず用意してください。
- (3)この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。これまで学習し、身につけてきた英語力をさらに伸ばすことが目的となりますので、必ずこれまでの復習を大事にしてください。
- (4)特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、ディベート、プレゼンテーション、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	Lesson 1 時制に関わる表現	6	a	時制に関わる表現について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	これまでの経験や好きな場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。	
			c	これまでの経験や好きな場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。	
	Lesson 2 助動詞を使った表現	6	a	助動詞を使った表現について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	週末の予定や最新のものなどについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりしている。	
			c	週末の予定や最新のものなどについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介しようとしている。	

	Lesson3 Part 1 受動態を使った表現	4	a	受動態を使った表現について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	印象深かった授業について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合っている。	
			c	印象深かった授業について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合おうとしている。	
	Lesson 3 Part 2 Lesson 4 Lesson 5 準動詞を使った表現	16	a	準動詞を使った表現について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	贈り物、日本の文化、いろいろな科学技術や将来の社会状況と職業について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったり、話して紹介したりしている。	
			c	贈り物、日本の文化、いろいろな科学技術や将来の社会状況と職業について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったり、話して紹介したりしようとしている。	
	Lesson 6 比較表現	6	a	比較表現を使った表現について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	物の大きさや、有名な場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりしている。	
			c	物の大きさや、有名な場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりしようとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
--------	-------	----------	---------	------

後 期	Lesson 7 関係詞を使った表現	6	a	関係詞を使った表現について理解を深めている。	授業プリント の取り組み 活動への参加 態度 パフォーマンス テスト 単元テスト 自己評価（振 り返りシート などの記述内 容）
			b	火星に関することについて情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合っている。	
			c	火星に関することについて情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合おうとしている。	
	Lesson 8 仮定法を使った表現	7	a	仮定法を使った表現について理解を深めている。	授業プリント の取り組み 活動への参加 態度 パフォーマンス テスト 単元テスト 自己評価（振 り返りシート などの記述内 容）
			b	外国に関することや、「もし～、」というテーマについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話し手紹介したりしている。	
			c	外国に関することや、「もし～、」というテーマについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話し手紹介しようとしている。	
	Lesson 9 否定の表現 代名詞を使った表現	6	a	否定の表現や代名詞を使った表現について理解を深めている。	授業プリント の取り組み 活動への参加 態度 パフォーマンス テスト 単元テスト 自己評価（振 り返りシート などの記述内 容）
			b	悩み事や社会問題について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったりしている。	
			c	悩み事や社会問題について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合おうとしている。	
	Lesson 10 無生物主語を使った表現	7	a	無生物主語を使った表現について理解を深めている。	授業プリント の取り組み 活動への参加 態度 パフォーマンス テスト
			b	調べ学習で調べたことや自分の関心のある人物について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話し手紹介したりしてい	

			c	る。 調べ学習で調べたことや自分の関心のある人物について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話し手紹介したりしようとしている。	単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	Basic Skill 1, Plus 論理的に表現する力	6	a b c	論理的に表現する力について理解を深めている。 社会的な課題について、聞いたり読んだりしたことやマインドマップを利用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、話し手紹介したりしている。 社会的な課題について、聞いたり読んだりしたことやマインドマップを利用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、話し手紹介したりしようとしている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）

令和7年度年間計画

教科	商業	学年	3	使用 教材	新簿記
					全経簿記検定試験 PAST 3級商簿（第210回類題～第217回類題）
科目	簿記	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
(3)	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
B	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
C	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

3 学習方法

①ワークシートを使用し、基本的な知識を習得するとともに必要に応じてレポートを作成し、協働的に学んだり発表を行う。
②基本的な知識をもとに、仕訳や帳簿作成を行う。
③見通しを持って課題に取組み、期限までに提出する。
④单元ごとに学んだことの繋がりを意識し、小テスト（单元テスト）に向け計画的に取り組む。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第4編 会計帳簿と帳簿組織 第21章 会計帳簿	2	a	これまで学んでいる諸帳簿の記帳法を理解をしているか。	単元テスト ワークシート レポート
			b	ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。	
			c	帳簿の種類や形式について関心を高めたか。	
	第22章 伝票の利用	9	a	仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法を理解しているか。伝票の起票、集計・転記が適切にできるか。	
前 期			b	入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。	単元テスト ワークシート レポート
			c	伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしたか。	
	第24章 特殊な手形の取引	8	a	手形の裏書譲渡・割引・書き換え、不渡手形等の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。	
			b	営業外受取手形と営業外支払手形の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。	
前 期			c	特殊な手形の取引について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。	単元テスト ワークシート レポート
	第25章 有価証券の取引	8	a	有価証券の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。	
			b	有価証券とその他の手形取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用	

			c	して適切に判断し，表現する能力を身につけたか。 有価証券とその他の手形取引に関心を高め，その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	
	第 26 章 本支店会計	9	a b c	本支店間の取引，支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して，基礎的な技術を身に付けたか。本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容を理解し，作成法を身に付けたか。 本支店間の取引，支店相互間の取引について，その記録・計算・整理に関する問題の解決を目指して，自らの考えを深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，表現する能力を身に付けたか。 本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心を持ち，進んで取り組み，作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしているか。	単元テスト ワークシート レポート

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第27章（発展学習） 最近の実務に広がる取引	7	a	クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。	単元テスト ワークシート レポート
			b	クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。	
			c	最近の実務に広がる取引に関心を高め、日常生活で行っている商取引について、どのような仕訳で表すか自ら進んで調べる態度を示したか。	
	第6編 決算（その2） 第28章 決算整理（その2）	9	a	費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などに関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。	単元テスト ワークシート レポート
			b	費用・収益の繰り延べ・見越しなどを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できているか。	
			c	費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心をもち、自ら進んで調べる態度を示したか。	
	第29章 株式会社の取引と財務諸表	8	a	株式会社の設立と株式の発行について、基本的な内容を理解したか。株式会社の純利益の計上・剰余金の配当と処分・税金の会計処理について、基本的な内容と記帳方法を理解したか。	単元テスト ワークシート レポート
			b	株式会社の財務諸表の作成について、自らの思考を深め、適切に作成しているか。知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。	
			c	個人企業と株式会社の会計処理や財務諸表の違いについて関心をもち	

				ち，自ら進んで調べる態度を示しているか。	
	第 23 章 会計ソフトウェアの活用	10	a b c	取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解したか。 会計ソフトウェアの活用方法について思考し，記帳の合理化を達成する方法を考えることができるか。 会計ソフトウェアの活用に関心を高め，その運用方法について積極的に学ぼうとしたか。	

令和7年度年間計画

教科	商業	学年	3	使用教材	情報処理
					情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 1・準1級編
科目	情報処理	単位	2		プレゼンテーション作成検定試験1・2級 編
					文書デザイン検定試験1級編

1 科目の目標（学習指導要領より）

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
(3)	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	ビジネスにおいて役立てることができる情報を、収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。
B	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。
C	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身に付けている。

3 学習方法

①実習を行い、情報を適切に読み取り表現することを定着させる。
②ワークシートを使用し、基本的な知識を習得するとともに必要に応じてレポートを作成する。
③期限までに見通しを持って課題を提出する。
④単元テストに向け、計画的に課題に取り組む。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第5章 プレゼンテーション 第1節プレゼンテーションの技法 ①プレゼンテーションとは ②話し方の技術 ③機器の活用 ④プレゼンテーションの準備（総探④）	2	a	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションにはどのような種類があるのかを理解している。相手に伝わりやすい話し方の技術について理解している。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
			b	プレゼンテーションを効果的に行うための機器について、特徴や使用方法を理解している。	
			c	プレゼンテーションを行うための事前準備において行うべきことを理解している。	
前 期	第2節「プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と活用」 ①プレゼンテーションソフトウェアの活用 ②提示資料の作成 ③効果的なスライドの設定 ④スライドの実行とシナリオの作成（総探④）	11	a	プレゼンテーションソフトウェアの特徴や画面構成について理解し、基本的な操作方法を習得している。プレゼンテーションソフトウェアを用いてスライドを作成するための技術を習得している。背景デザイン、アニメーション、図解などの、プレゼンテーションを効果的に演出するための技術を習得している。プレゼンテーションソフトウェアを用いて実際にプレゼンテーションを行うための技術を習得している。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
			b	効果的に情報を伝えるために、どのようなスライドを作成すればよいのかを考え、表現しようとしている。	
			c	プレゼンテーションソフトウェアを適切に活用することができれば、より効果的なプレゼンテーションを実現することができることを理解し、そのための方法を主体的に学習しようとしている。	
前 期	第2節「文書作成ソフトウェアの特徴」 ①文書作成ソフトウェアの基本操作 ②文書作成ソフトウェアの編集機能				小テスト ワークシート 観察、ワークシート

	第3節「ビジネス文書の種類と作成」 ①ビジネス文書の種類と基本的な構成 ②依頼書の作成 ③挨拶状の作成 ④礼状の作成 ⑤起案書（稟議書）の作成 ⑥報告書の作成 ⑦企画書の作成 ⑧リーフレットの作成	13	a	ビジネス文書にはどのような種類があるのかを理解している。社外文書がどのような構成要素によって成り立っているのかを理解している。依頼書、挨拶状、礼状、起案書（稟議書）、報告書、企画書、リーフレットなどの特徴を理解し、作成方法を習得している。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
	第3章「情報の集計と分析」 第3節「情報の分析」 ①関数を用いた情報の分析—データの特徴を見る ②関数を用いた情報の分析—お買い上げ一覧表を作る ③関数を用いた情報の分析—データを分けて判定する	10	a	統計的処理を行うことができる表計算ソフトウェアの関数について、それぞれの特徴を理解し、適切に活用するための技術を習得している。検索を行うことができる表計算ソフトウェアの関数について、それぞれの特徴を理解し、適切に活用するための技術を習得している。条件による場合分けによって処理を分岐させることができる表計算ソフトウェアの関数について、それぞれの特徴を理解し、適切に活用するための技術を習得している。	
			b	各関数や操作方法について理解したうえで、具体的な事例のなかで、どのような場面でどのような表計算ソフトウェアの処理を行うのがよいのかを考え、表現しようとしている。	
			c	表計算ソフトウェアを適切に活用することで、情報を分析したり加工したりすることができることを理解し、主体的にその方法などを学習しようとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第3節「情報の分析」 ④関数を用いた情報の分析—金種計算表を作成する ⑤関数を用いた情報の分析—勤務時間を計算する ⑥関数を用いた情報の分析—一覧表から目的のデータを集計しよう— ⑦整列、検索、抽出機能を用いた情報の分析	15	a	a データ集計を行うことができる表計算ソフトウェアの関数について、それぞれの特徴を理解し、適切に活用するための技術を習得している。タイムマネジメントの際に利用できる、日付や時刻に関する表計算ソフトウェアの関数について、それぞれの特徴を理解し、適切に活用するための技術を習得している。データベースを活用することができる表計算ソフトウェアの関数について、それぞれの特徴を理解し、適切に活用するための技術を習得している。表計算ソフトウェアにおいて、データを整理するための技術を習得している。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
	第4節「問題の発見と解決の方法」 ①問題解決のプロセス ②問題の発見から解決まで ③アルゴリズムとプログラミング	13	a	a 問題を発見し、解決するためのプロセスについて理解している。情報を収集し、整理して問題を解決するための各方法について、それぞれの特徴を理解している。問題解決にアルゴリズムを活用するための知識を理解し、流れ図によってアルゴリズムを表現するための技術を習得している。	
			b	b 具体的な事例に基づいて、さまざまな分析手法によって、問題状況の解決策を考え、表現しようとしている。	
			c	c 個人や企業が直面するさまざまな問題について、情報を適切に活用することでそれらを明確にし、解決の方法が見いだせることを理解し、主体的にその方法などを習得しようとしている。	

	第4節「情報セキュリティの確保」 ①情報セキュリティとその重要性 ②情報セキュリティを脅かすリスク ③情報セキュリティを確保する方法	6	a 情報セキュリティを脅かすリスクにはどのようなものがあるのかを理解している。情報セキュリティを確保するための方法にはどのようなものがあるのかを理解している。 b 個人や企業が守るべき情報にはどのようなものがあるのかを考えようとしている。情報セキュリティに関して課題のある場面においてどのようにすれば情報セキュリティを確保することができるのかを考えようとしている。 c 個人や企業が情報セキュリティについて配慮することの重要性を理解し、情報セキュリティを確保する方法について主体的に学習しようとしている。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
--	---	---	--	-----------------------------

令和7年度年間計画

教科	家庭	学年	3	使用 教材	生活と福祉
科目	生活と福祉	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

高齢者の介護と福祉に関する知識と技術を習得し、高齢者の自己決定に基づく自立生活支援と福祉の充実について思考を深め、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援を担う資質・能力を育成することを目指す。	
(1)	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。
(2)	高齢者の健康と生活、介護などにかんする課題を発見し、高齢者の自立支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3)	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	高齢者の生活について、高齢期に至るまでの健康づくりやライフステージごとの健康管理について理解するとともに、生活支援サービスや介護の実習を通して技術を身につけている。
B	高齢者の自己決定に基づく自立生活支援と福祉の充実について思考を深め、課題を発見する他、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として、必要な基本的な法的根拠に基づいて課題を解決することができる力を身につけている。
C	地域の高齢者の生活に関心を持ち、高齢者との積極的な関わりや適切な生活支援や介護を通して、福祉の充実・向上に取り組む態度を身につけている

3 学習方法

・ワークシートを使用し、必要な知識を習得する。 ・実習を行い、基礎的・基本的な技術の習得と定着を行う。 ・学習における課題に対して、どのように思考・判断し、解決したかを、レポートやワークシートなどにまとめる。
--

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	第1章 健康と生活 第1節 健康に関する諸概念 第2節 ライフステージと健康管理	7	a	健康の概念とライフステージごとの健康管理について理解している。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
			b	ライフステージごとの健康問題を踏まえ、生活習慣病の予防など高齢期に至るまでの課題を発見し、その解決に向けて考察することができる。	
			c	健康と生活について自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的に、協働的に取り組んでいる。	
	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴 第1節 少子高齢化の現状 第2節 家族・地域の変化 第3節 高齢者の心身の特徴 第4節 高齢者の病気 第5節 高齢者に見られる主な疾患や症状 第6節 高齢者の生活課題と施策 ◎麻痺疑似体験 総探①②	9	a	加齢に伴う心身の変化を踏まえ、認知症への理解を深めている。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
			b	高齢者の生活課題を発見し、その解決に向けて考察することができる。	
			c	高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的に、協働的に取り組んでいる。	
	第3章 高齢者の自立支援 第1節 人間の尊厳 第2節 高齢者介護の考え方 第3節 コミュニケーションと介護 ◎高齢者施設見学	12	a	高齢者の自己決定に基づく自立生活について、人間の尊厳の重要性と関連づけて理解している。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
			b	高齢者が地域において自立生活を送るための課題を発見し、その解決に向けて考察している。	
			c	高齢者の自立生活支援と介護について自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的	

				に、協働的に取り組んでいる。	
--	--	--	--	----------------	--

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第5章 介護の実習 第1節 体位変換 第2節 歩行介助 第3節 車いすの移乗・移動の介護 第4節 食事の介護 第5節 ベッドメイキング 第6節 衣服の着脱の介護 第7節 からだの清潔の介護 第8節 排泄の介護 第9節 褥瘡の予防 第10節 災害時の介護	10	a	介護予防の考え方に基づいた見守りや適切な支援が大切であることを理解し、基礎的な介護技術を身につけている。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
			b	介護の実習に関する課題を発見し、その解決に向けて考察することができる。	
			c	介護の実習について自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第7章 生活支援 第1節 生活支援の考え方 第2節 レクリエーション 第3節 高齢者福祉施設の見学 第4節 ボランティア活動への参加 ◎介護実習 総探①②③④	17	a	生活支援サービスと介護の実習について、家事援助や基本的な介護技術を身につけている。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
			b	生活支援サービスと介護の実習に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。	
			c	生活支援サービスと介護の実習について自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第6章 看護の実習 第1節 家庭看護 第2節 バイタルサインの見方 第3節 口腔の清潔 第4節 誤嚥と窒息 第5節 転倒と骨折 第6節 低温やけど 第7節 脱水	8	a	健康の概念とライフステージごとの健康管理について理解している。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
			b	ライフステージごとの健康問題を踏まえ、生活習慣病の予防など高齢期に至るまでの課題を発見し、その解決に向けて考察することができる。	
			c	健康と生活について自ら学び、高	

	第 8 節 熱中症 第 9 節 高血圧と低血 圧 第 10 章 糖尿病			齢者の生活の質の向上と自立生活 支援に主体的に、協働的に取り組 んでいる。	
	第 4 章 高齢者支援の 法律と制度 第 1 節 社会保障・社 会福祉制度の仕組み 第 2 節 介護保険制度 のしくみ 第 3 節 さまざまな高 齢者支援のしくみ 第 4 節 地域共生社会	7	a b c	高齢者福祉の法規と制度の概要に ついて理解している。 日本の高齢化の特徴と人口減少社 会の課題を発見し、その解決に向 けて考察している。 高齢者福祉の制度とサービスにつ いて自ら学び、高齢者の生活の質 の向上と自立生活支援に主体的か つ協働的に取り組んでいる。	・ワーク シ ート ・グループ ワーク ・単元テスト

令和7年度年間計画

教科	家庭	学年	3	使用教材	フードデザイン Food Changes LIFE
科目	フードデザイン	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3)	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	食生活を総合的に計画・実践するために、栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。
B	食に関する価値観及びライフスタイルの多様化、食生活の環境への負荷など、多面的に食生活の現状を捉え思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見している。
C	食生活の充実向上を担う職業人として、家庭や社会の人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を身につけている。

3 学習方法

・ワークシートを使用し、必要な知識を習得する。 ・実習を行い、基礎的・基本的な技術の習得と定着を行う。 ・学習における課題に対して、どのように思考し、判断し、解決したかを、レポートやワークシートなどにまとめる。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1章 健康と食生活 1 食事の意義と役割 2 食を取り巻く現状 ◎調理実習	8	a	食事の意義と役割について食習慣、栄養状態、食料事情などの視点から理解している。	・ワークシート ・グループワーク ・調理実習 ・単元テスト
			b	健康な食生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活の工夫などについて考察している。	
			c	健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的・協働的に取り組んでいる。	
	第2章 栄養素と食品 1 栄養素と消化・吸収 2 各栄養素のはたらき 3 食品とその特徴 4 何をどれだけ食べる？ ◎トマト農家見学 総探①②	10	a	基本となる五大栄養素の機能と代謝及び水の生理的機能について理解している。	・ワークシート ・グループワーク ・レポート ・単元テスト
			b	日本人の食事摂取基準と食生活・生活習慣病などとの関わりについて、課題を発見し、その解決に向けて望ましい食生活について考察している。	
			c	栄養素の機能や代謝について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第6章 食育と食育推進活動 1 食育推進の取り組み 2 食文化を見つめる 3 食と環境について考えよう ◎食育指導 総探③④	9	a	食育を推進することの重要性を理解し、家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身につけている。	・ワークシート ・グループワーク ・発表 ・単元テスト
			b	家庭や学校及び地域における食育の推進について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。	
			c	食育と食育推進活動について自ら学び、家庭や社会の人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第3章 食品の選択と 取り扱い 1 食品選択のコツ 2 食品衛生と安全 3 食の安全を考えて 選ぼう	8	a	食生活を総合的に計画・実践できるようにするために、栄養・食品・生活様式と献立、調理などのフードデザインの構成要素について理解し、関連する技術を身につけている。	・ワークシート ・グループワーク ・調理実習 ・単元テスト
			b	フードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫している。	
			c	フードデザインの構成要素について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第4章 調理してみよう 1 なぜ調理するのか 2 調理操作と調理器具 ◎調理実習	18	a	食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理について、基本的な考え方や方法を理解し、関連する技術を身につけている。	・ワークシート ・グループワーク ・調理実習 ・単元テスト
			b	献立に適した食品の選択と、食品の調理性を踏まえた適切な調理について考察し、工夫している。	
			c	実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第5章 各国料理とコーディネート 1 料理の様式 2 テーブルコーディネート ◎調理実習	17	a	テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解し、関連する技術を身につけている。	・ワークシート ・グループワーク ・調理実習 ・単元テスト
			b	もてなしの心や食べる人の心身の状態などに配慮した食卓環境について考え、工夫している。	
			c	テーブルコーディネートについて自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組んでいる。	